

買い取り制度でビジネス活発



2012年度の買い取り価格と買い取り期間			
分野	区分	1kWh当たり価格(税込み)	期間
太陽光	10kW以上	42円	20年
	10kW未満	42円	10年
風力	10kW未満(ダブル発電)	34円	10年
	20kW未満	23.10円	10年
地熱	1万5000kW以上	57.75円	20年
	1万5000kW未満	27.30円	15年
中小水力	1000kW以上3万kW未満	42円	一律20年
	200kW以上1000kW未満	25.20円	
バイオマス	200kW未満	30.45円	
	200kW未満	35.70円	
バイオマス	メタン発酵ガス化発電	40.95円	一律20年
	未利用木材燃焼発電 1	33.60円	
	一般木材など燃焼発電 2	25.20円	
	廃棄物(木質以外)燃焼発電 3	17.85円	
バイオマス	リサイクル木材燃焼発電 4	13.65円	

1 間伐材や主伐材で、未利用であることが確認できたもの
2 未利用木材およびリサイクル木材以外の木材(製材端材や輸入木材)ならびにパーム椰子殻、稲わら・もみ殻
3 一般廃棄物、下水汚泥、食品廃棄物など
4 建設廃材



木材会館で10日に設立総会を開いた「木質バイオマスエネルギー利用推進協議会」。

木材会館で10日に設立総会を開いた「木質バイオマスエネルギー利用推進協議会」。



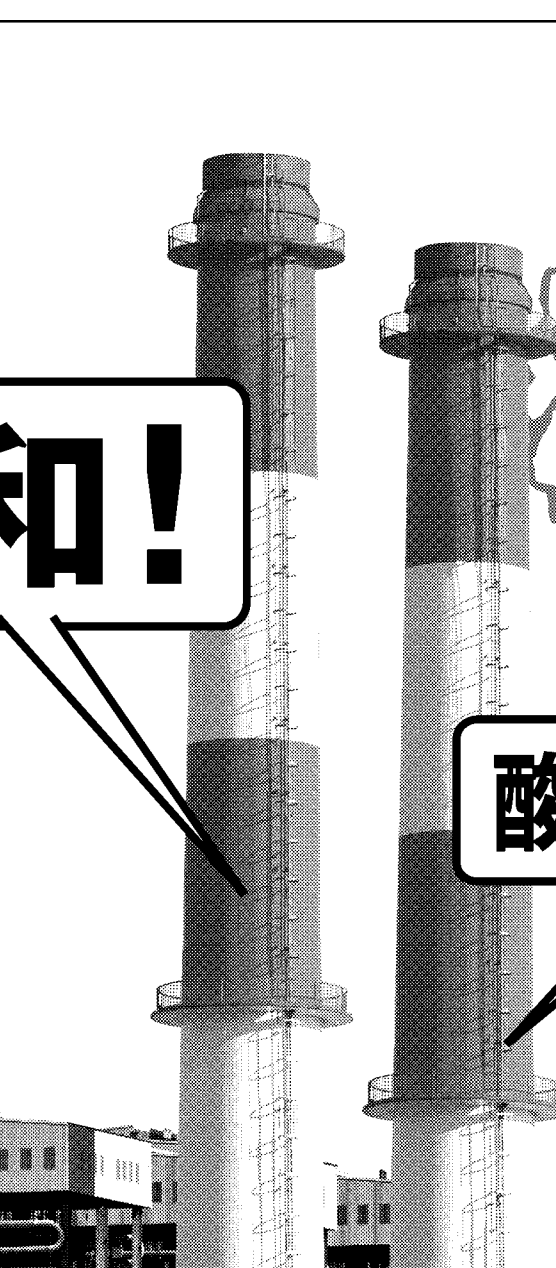
環境リサイクルエネルギーが設備認定申請中のバイオマス発電所「豪力」

環境リサイクルエネルギーが設備認定申請中のバイオマス発電所「豪力」

混焼発電の価格国と協議

混焼発電の価格国と協議

混焼発電の価格国と協議



バイオマス、小水力、地熱、風力、太陽光といったエネルギー源を用いた再生可能エネルギーが、地球温暖化の防止やエネルギーの安定供給、環境問題の解決などから注目されている。こうした中、2012年7月1日に再生可能エネルギーでつくった電気の買い取りを義務づける「再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度」が始まった。これを機に設備認定を受けて発電に新規参入する事業者や、既に再生可能エネルギーによる発電を実施して今適用認定を受ける事業者の動きなどを、エネルギー源別に追った。

世界規模で再生可能エネルギーを積極的に利用し、枝野幸男経済産業相が定めた「買い取り価格や買い取り期間」は、設置コストなどの実態に合ったものになるように、既に7月1日のスタートに照準をあてた企業による発電所の建設と運営の計画が相次いで公表されている。会社定款を変更し、発電や電力の販売を加えて再生可能エネルギーを新たな「本業」とする動きもある。一方、7月1日時点で既に再生可能エネルギーで発電していた発電設備の場合、今年11月1日までに再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度に該当する認定の申請をする必要がある。今後こうした既存事業者の申請が活発化するとみられる。

グリーン・サマル月10日に山林未利用材を燃料とするバイオマス発電所を稼働させた。年間6万ト(原木換算で約10万立方メートル)の木質チップを使い、送電出力5000キロワットを生み出す。再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度に基づいた、未利用材を活用した木質バイオマス発電施設

資源循環モデル 軌道に

資源循環モデル 軌道に

ECO技、クラボウ。

技の解説②

工場ボイラや焼却炉からの排煙をアルカリ性廃水に溶かして中和。

排煙に含まれている酸性ガス(CO₂・SO_x)を高効率に除去します。

排水をpH基準内に処理するための高価な酸中和剤も不要に。

中和法の他にも豊富なシステムから最適のプロセスが選べます。

クラボウ・エンジニアリング事業部はガス・水・熱処理装置など幅広く環境プラントを開発しています。(排煙脱硫装置(KBCA))は、工場ボイラや製造工程で発生する排ガス中の硫黄酸化物(SO_x)と煤塵を効率よく除去する画期的な装置。設備費、運転費が安価で、安全性が高く、管理も容易。国内では業界屈指の納入実績を誇っています。

工場の排煙浄化で活躍
＜排煙脱硫装置＞

ECO技クラボウ 検索